

地域活動に対する「気づき」と「きっかけ」 ～市民が地域活動に参加したくなるポイントガイド～

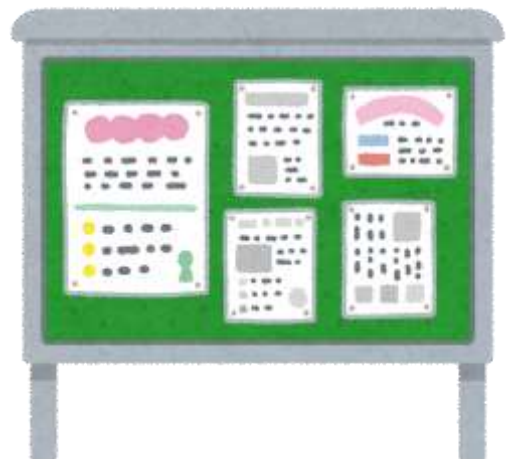
地域活動において多くの団体では、活動の継続にあたり、若手や新たな担い手不足が深刻となっています。多摩市自治推進委員会では、市民の地域活動の参加に対して「気づき」と「きっかけ」をつくり、参加に対する興味や意欲を抱き、地域活動が活性化するためのちょっとした工夫を提案します。

『地域活動』活性化へのポイント！

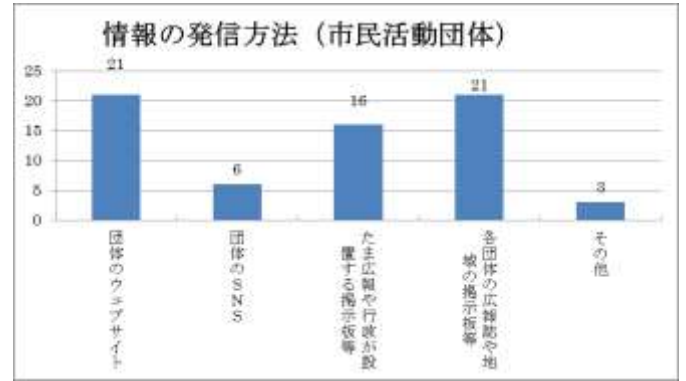
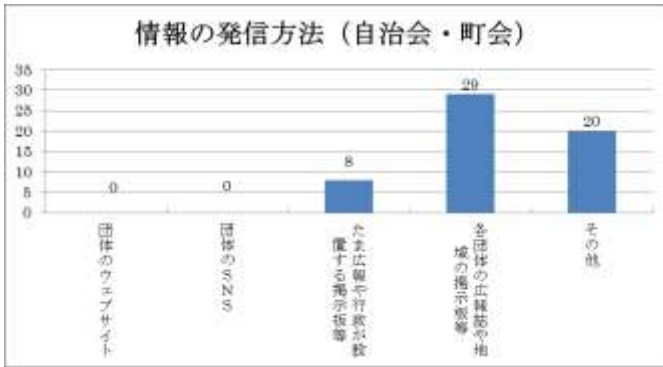
さまざまな媒体を活用して
情報発信をしよう！



運営体制をもう一度
見直してみよう！



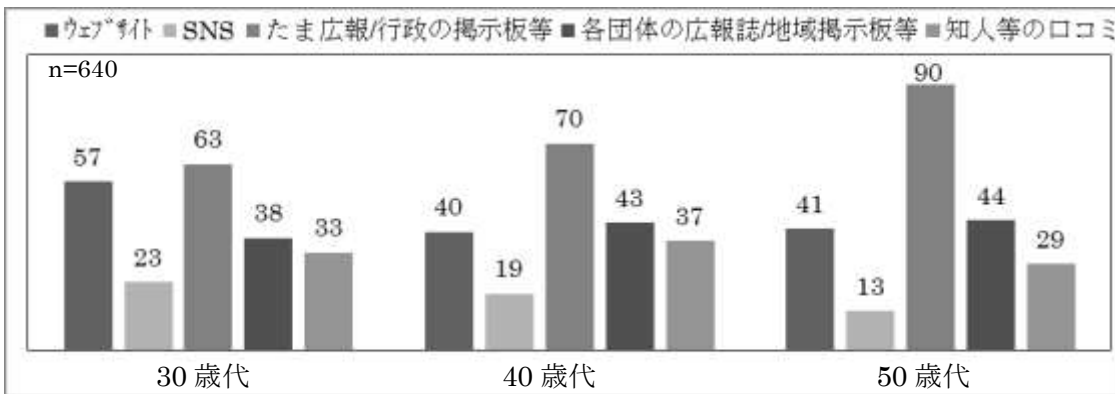
情報発信・提供のミスマッチを解消する



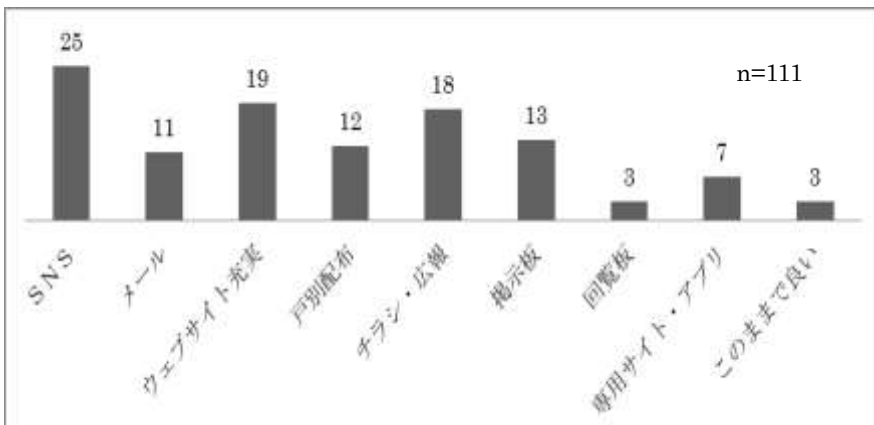
自治会・町会に対して実施したアンケートでは、各団体の広報誌や地域の掲示板等がもっとも多く、その他のうち 14 件が回覧板での情報発信と回答している。

市民活動団体に対して実施したアンケートでは、多くの団体が、チラシの戸別配布やウェブサイトの利用、たま広報やイベントの開催等あらゆる方法で情報発信を行っているという回答している。

情報収集方法（複数回答）



行政からの情報発信で、推進してほしい方法（記述回答）



市民アンケート結果より、希望する情報媒体については、電子媒体の活用が多かったものの、チラシ等の紙媒体を希望する意見も多かった。実際に、現在の主な情報収集方法としては、たま広報が最も多かった。

『地域活動』活性化へのポイント！①

情報発信の媒体方法を有効活用し、活動や取り組みを知ってもらおう

情報提供は、団体活動等をPRするために重要なツールです。インターネットによる情報収集が主流となった現代においては、SNSやウェブサイトを活用した情報発信が有効ですが、伝えたい内容や受け取る側の年代等によって、それぞれに合う情報発信の手法を取り入れる必要があります。

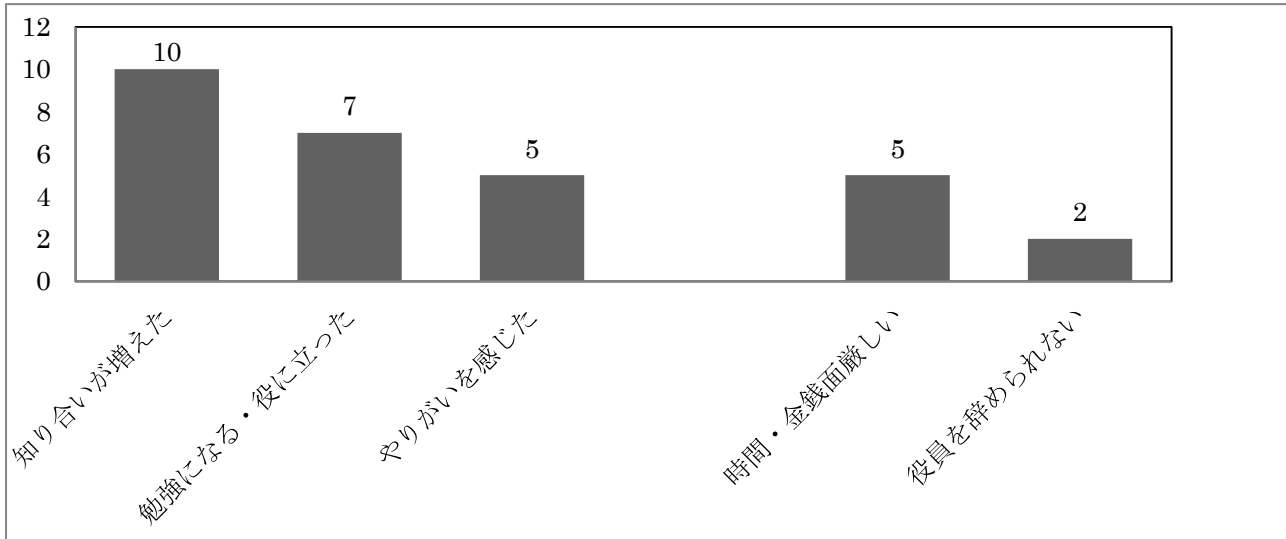
電子媒体による情報発信と
紙媒体による情報発信を
使い分けよう！

視覚的にすぐ伝わり
興味をそそるような表現を
工夫してみよう！

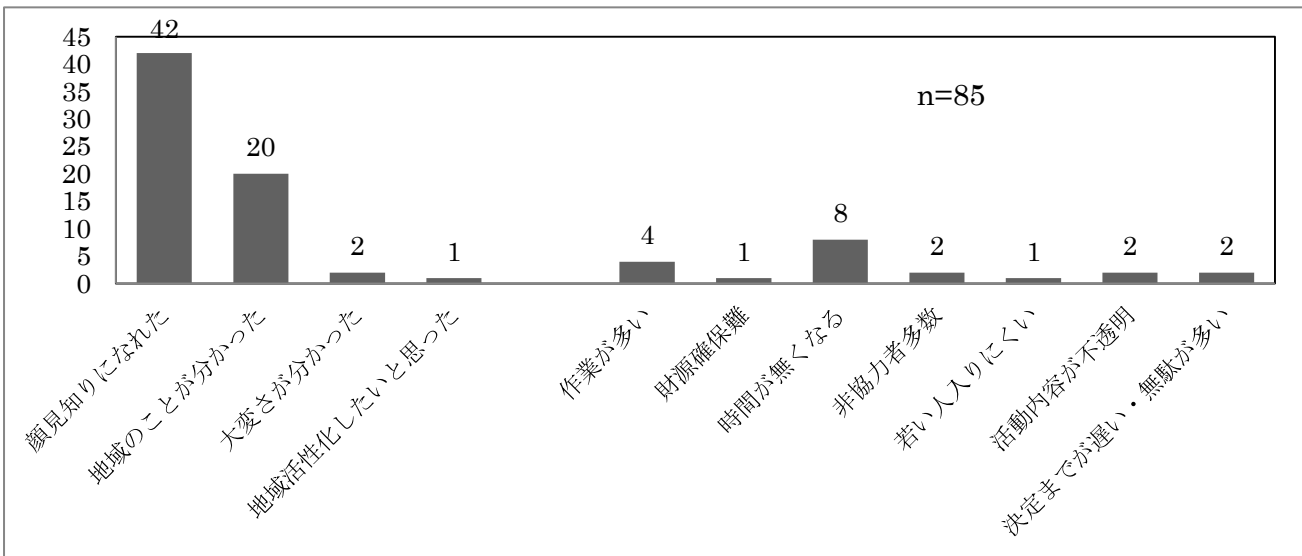


市民参画が身近になるような団体運営づくりをする

参加して良かったこと・悪かったこと（自治会・町会）

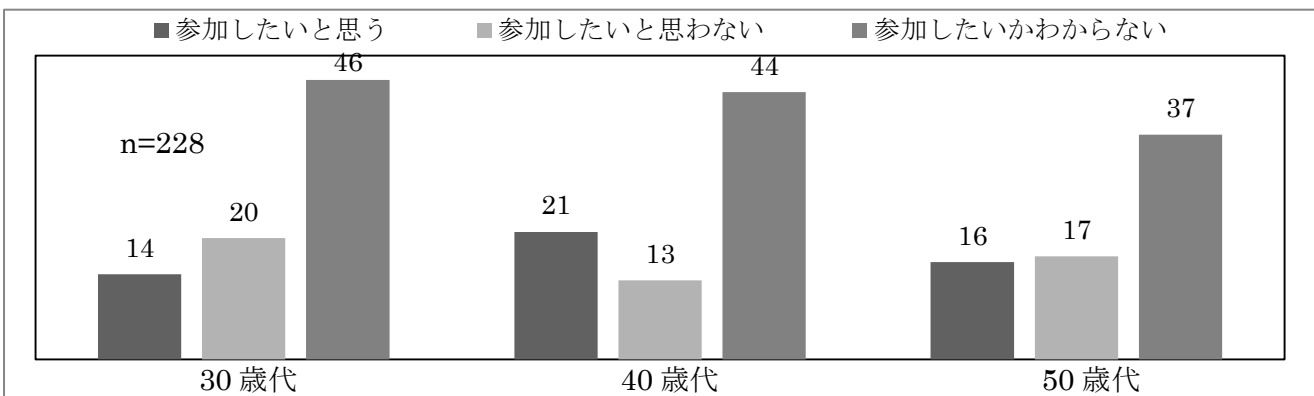


参加して良かったこと・悪かったこと（市民活動団体）

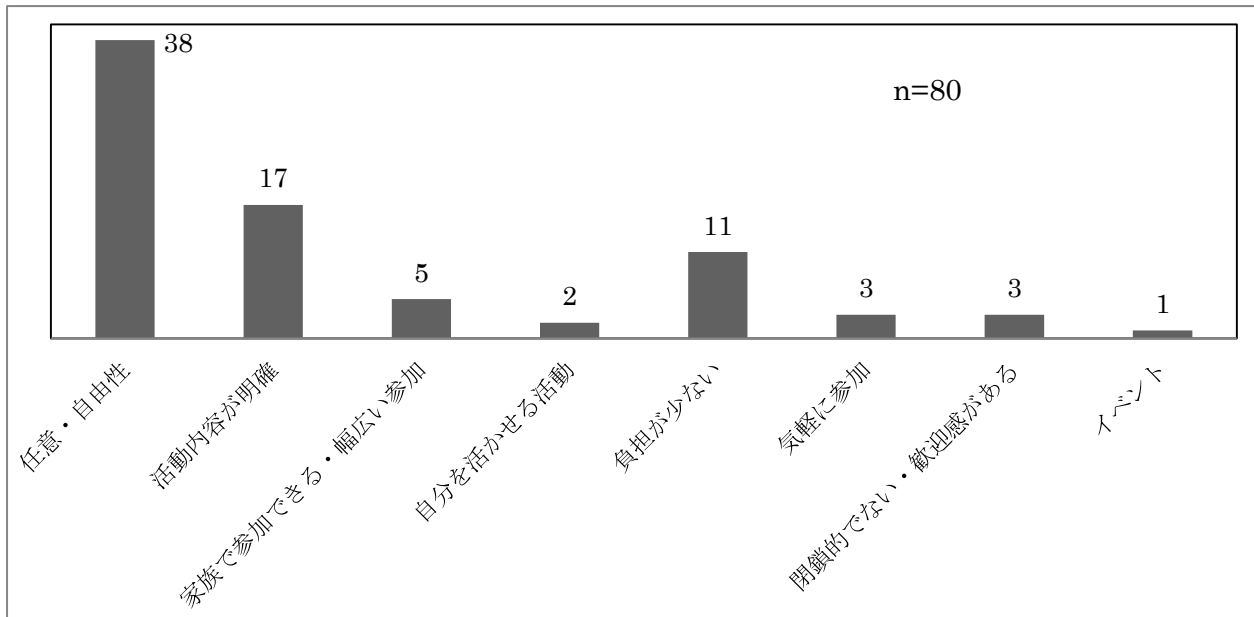


市民アンケート結果より、地域との関わりが希薄化することへの懸念や地域間での助け合い、支え合いが大切であるという回答がある一方で、地域活動団体そのものや活動内容について、参加への負担感や不信感があるため参加したくないとの回答も多かった。

今後活動に参加したいと思うか



どのような受け入れ体制や活動体制を望むか（記述回答）



市民にとって、地域活動が身近で参加しやすく、また活動へ参加することへの満足感や達成感が得られるような仕組みが必要である。

『地域活動』活性化へのポイント！②

地域住民が活動に参加しやすく、活動しやすい体制を整えよう

第一段階として、団体の活動内容を知ってもらうことが大切ですが、実際に興味を持ってくれた人が参加・入会してくれた時に、受け入れ体制が整っていないと、すぐに離れて行ってしまいます。

団体の活動を継続的に行い、且つ活性化するためには、団体の運営体制を考える必要があります。

家族で参加できるような
地域活動は、
身近で参加しやすいね！

強制的でなく、自分達で
参加するかどうかを
決められる体制にしよう！



○アンケート調査について

地域活動への市民参画の推進に向けた検討の参考とするため、自治会・町会及び市民活動団体と多摩市民を対象にアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の実施概要は、以下のとおりです。

なお、アンケートの調査結果は、多摩市公式ホームページ及び『地域活動に対する「気づき」と「きっかけ」の仕掛け作りについての検討報告書』において掲載しています。

・調査概要

実施時期：平成29年9月25日から平成29年10月20日

調査対象：①自治会、町会及び市民活動団体204団体

②多摩市民1,500人（無作為抽出）

回答数、回答率：①357件（23.5%） ②96件（47.5%）